

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
勝山市	平泉寺町笹尾・経塚	令和3年2月26日	年 月 日

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	19.8ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	14.5ha
③地区内における60才以上の農業者の耕作面積の合計	8.5ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	4.7ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	6 ha
(備考)	

注1:③の「60才以上」には、地域の実情に応じて、5～10年後の農地利用を議論する上で適切な年齢を記載します。

注2:④の面積は、下記の「(参考)中心経営体」の「今後の農地の引受けの意向」欄の「経営面積」の合計から「現状」欄の「経営面積」の合計を差し引いた面積を記載します。

注3:アンケート等により、農地中間管理機構の活用や基盤整備の実施、作物生産や鳥獣被害防止対策、災害対策等に関する意向を把握した場合には、備考欄に地区の現状に関するデータとして記載してください。

注4:プランには、話合いに活用した地図を添付してください。

## 2 対象地区の課題

- ・後継者がいない農家が多く、生産組織を設立するにもリーダーがいない。
- ・農機具が高いこと、草刈りが大変、獣害が発生しているなどで農業の将来が描けない。

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

- ・現在ある転作を受託する笹尾共同営農組合を地区の中心経営体とする。

- ・経塚・笹尾の農地を高齢化などで農業をリタイヤしたときは、近隣の農事組法人(B法人、C法人)やD氏(認定農家)に委託する。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
集	A共同営農組合	蕎麦	5 ha	水稻、蕎麦	9 ha	笹尾、経塚
認農法	B法人	蕎麦	0.4 ha	蕎麦	0.4 ha	笹尾、経塚
認農法	C法人	水稻、蕎麦	0 ha	水稻、蕎麦	1 ha	笹尾、経塚
認農	D	水稻、蕎麦	0 ha	水稻、蕎麦	1 ha	笹尾、経塚
計	2人		5.4 ha		11.4 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

<p>笹尾共同営農組合を中心経営体にできないか集落で定期的に協議していく。</p>
<p>現在、近隣の農事組法人(B法人)に耕作を委託しているは農地を今後も農地を担ってくれるよう依頼していく。</p>
<p>今は、個人で耕作している農家がリタイアしたときに、近隣の農事組法人(B法人、C法人)やD氏(認定農家)に経塚・笹尾の農地を担ってくれるよう農事組法人などに依頼していく。</p>